

「合格のために必要なこと」とは何か



前列左から 山崎希美さん、永倉真紀さん、渋谷晴子さん
後列左から 喜治塾長、石田真啓さん、岩宮啓太さん、井澤哲さん、五十嵐講師

出席者

山崎 希美さん

早稲田大学 教育学部卒業〈内閣府内定〉

岩宮 啓太さん

早稲田大学 法学部在学〈公正取引委員会内定〉

井澤 哲さん

早稲田大学 政治経済学部在学〈法務省内定〉

永倉 真紀さん

早稲田大学 法学部在学〈厚生労働省内定〉

石田 真啓さん

東京大学 法学部在学〈防衛省内定〉

渋谷 晴子さん

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科在学〈法務省内定〉

「弱い立場の人を支えたい」

五十嵐 (司会)

みなさん合格おめでとございます。ではまずお一人ずつ、合格までの経緯を簡単に紹介してください。

岩宮

大学2年の春から国 I クラスに入り、4年生で合格しました。公務員を志したのは高校3年の時で、「皆が正しいことをするような社会」を実現したいと思ったのが動機です。

石田

ロースクール志望から転換し大学3年の9月から独学で公務員試験の勉強を始め、4年生で受かったのですが、席次も低く、それに官庁訪問対策がまったくできておらず、内定をとれませんでした。そこで、1人でやってもだめだと思って、昨年10月から喜治塾に通いました。

井澤

大学2年の10月から国 I クラスに入り、4年生で合格しました。もともと更生保護関係のボランティアをしていて、そこで出会った観察官の方が仕事がすごくできてかっこよく見えたので、自分も目指すことにしました。

渋谷

大学院2年生の春に、研究の世界から離れて社会に直接働きかける活動してみたいという気持ちが強まり、公務員を目指しました。私は行政総合クラスだったので、幅広くいろんな試験を考えていて、国 I も院の専攻を生かし人間科学で受験しました。

山崎

大学は教育学部で、教育に関わる仕事をしたいと思い、大学3年の春から国 I クラスに入りました。翌年は受験に失敗していった民間に就職したのですが、社会に出たことで弱い立場の人を支える公務員になりたいという思いがいつそう強くなりました。そこで、働きながら再び塾に通い、卒業2年目で合格しました。

永倉

昨年の春、行政総合クラスに入りました。最初は国 I はまったく考えず裁判所事務官が志望だったのですが、勉強していくうちに働くなら国で政策を作る仕事をしたいと考えようになりました。国 I は択一を受けたらたまたま受かり、そこから慌てて論文対策をやって合格しました。

教養試験は普段からの興味・関心の広さが大切

五十嵐

では試験の流れに沿って、試験勉強で苦労した点、工夫した点をお話してください。まずは択一の教養科目からお願いします。

渋谷

私は知能が苦手でかなり時間を使いました。年明けから毎日午前中は教養に当て、ひたすら問題を解きました。今考えるともう少し早めに取り組んでおけば良かったです。

岩宮

僕は大学入試を受けていなかったのですが、歴史も地理も英語もろくにやっておらず、本も読まないで、人より遥かに劣っているという危機感がありました。知能は1日1問以上絶対解く、英語も1日20個以上単語を覚える、等の努力をして克服に努めました。歴史は五十嵐先生の基礎講義で靖国神社遊就館に見学に行ったことがきっかけで興味を持ち、開眼することができました。



井澤

国 I の教養は自然科学が時事と結構リンクしているので、時事対策のために新聞を読むだけではなく、科学だとか多方面に目を通してよくと良いと思います。